

裏紙目立たないパテ 塗装説明書

- 商品名 裏紙目立たないパテ
内壁用クロス剥離後の不陸調整用水性系パテ材
- 素材 プラスターボード、各種ボード、コンクリート、石綿スレート、木部 など
- 荷姿 1kg / 3kg

| 工程 | 塗料名 | 塗装方法 | 塗り回数 | 塗装間隔 (時間以上) | 塗面積と塗付量 (kg/m ²) | 希釈率 (%) |
|-------|--|------|-------------|----------------|-------------------------------------|------------|
| 素地調整 | 被塗面に付着している汚れ・油成分・ゴミ・粉などの付着物を除去し乾燥した清浄な面にする。 穴埋めが必要な場合にはパテ・フィラーなどを用いて行う。 | | | | | |
| 下塗り 1 | 裏紙目立たないパテ | 金ベラ | 1~2 | 6時間以上 | 約 2 m ² /1kg 当り (0.3) | 0% |
| 下塗り 2 | 仕上げ用パテ | | 各社製品の仕様に従う。 | | | |
| 上塗り | カラーワークス製品 | | 各製品の仕様に従う。 | | | |

(注) 被塗膜の形状、素地の状態、施工方法、施工条件によりそれぞれ多少幅を生じることがあります。

※上記塗装間隔は、塗り厚 0.2 mm、室温 20℃、湿度 55%の空気が循環している状態での時間です。現場状況により変わることがありますのでご注意ください。

【塗装要領】

下地準備

カビが発生している場合は市販のカビ取り剤を使用し除去してください。
クロスの裏紙が浮いている箇所はあらかじめ剥がしたあとに施工してください。
塗装面のゴミ・カビ・油汚れ・たばこのヤニなどはきれいに落とししてください。
鉄部に塗る場合は、よくサビを落とし、必ず下塗りにサビ止めペイントを塗ってください。
剥がれかけのペイントや付着物はサンドペーパーや皮スキ・ワイヤーブラシなどを使い取り除きます。
塗布前に壁紙表面に#100程度のサンドペーパーを当ててください。
ツヤのある表面は必要に応じてサンドペーパーで表面をザラザラにしておいてください。
施工面は塗装する前に完全に乾燥させてください。
※壁紙裏打ち紙が浮いている箇所は予め剥がした後、裏紙目立たないパテを塗布してください。

養生

マスキングテープやマスカーを使い、塗りたくない所を覆います。マスキングテープは塗装が終了しない場合でもその日のうちに一旦剥がしてください。翌日になると塗料が固まってしまいマスキングテープを綺麗に剥がすことが難しくなります。

塗装

下地処理が完全に乾燥しているか確認します。本品を容器から取り出し、盛板に移します。
金ベラを使い盛板の上で軽く練ります。クロスの裏紙部分がしっかりと隠れるように薄く平滑になるように塗ってください。完全に乾燥した後にサンドペーパーで研磨してください。裏紙目立たないパテが完全に乾燥したら仕上げ用のパテを施工してください。

【和壁（砂壁・じゅらく壁）面の全面調整での注意】

繊維壁、綿壁の場合、表面強度が弱いので、予め掻き落としてから施工してください。

掻き落とした表面が粉っぽい場合はシーラー処理を行ってください。

■ 塗装上の注意

1. 素地の乾燥を十分行ってください。（含水率 10%以下、pH 値 9 以下）
2. 取り扱い中は、塗料ができるだけ皮膚に触れないようにし、保護手袋・保護メガネなどを着用してください。
3. 気温、被塗物の温度が 5℃以下、32℃以上、湿度 85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
4. 高温（35℃以上）および低温（5℃以下）での塗料の保管は避けてください。
5. 塗装後 24 時間以内に、結露や塗装場所の急激な湿度変化がありますと、白化やシミが残ったり、塗膜が正常に形成されない場合があります。
6. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。
7. 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。
8. 塗装時及び塗料の取扱い時は、換気を十分に行ってください。
9. 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合、大型壁面塗装では補修部分が目立つことがありますので、同一塗料、同一塗装方法での補修をしてください。
10. 本品を施工した面に膨れが起こった場合は、完全に乾燥したあとに膨れた部分をカッターなどで除去し、膨れがなくなったのを確認してから再度本品を施工してください。
11. 下地が動いた場合は、クラックが発生することがあります。
12. 一度で平滑にならない場合は、完全に乾燥したのを確認してから再度施工してください。
13. 一度の塗布厚は 0.5 mm以下にしてください。厚塗りをすると極端に乾燥時間が遅くなります。
14. クロスを剥がした際に基材が露出している場合は、適切なシーラーなどの処理をしてから施工してください。
15. 下地の種類・状況によっては、本品単体での施工が困難な場合があります。その場合は適切なシーラー処理・防カビ処理を行うか、使用を中止してください。
16. 仕上げパテを施工後、上塗り塗料を塗布する際は、水性塗料以外は塗布しないでください。
17. クロス面へ施工する場合、汚れ防止壁紙など既存壁紙の種類によっては裏紙目立たないパテが密着しにくいものがあります。

株式会社カラーワークス

〒242-0001 神奈川県大和市つきみ野 1-1-40

TEL : 046-278-3029 FAX : 046-272-7200

www.COLORWORKS.CO.JP